

一般教育訓練明示書

講座の名称	経済学研究科 経済学専攻 修士課程 データサイエンスと行動経済学コース				
実施方法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	2622011	—	2510022	—	5
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 令和6年4月1日	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(0人)	修了者数 (0人)	
訓練期間	24ヶ月		総訓練時間	1440時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		修士(経済学)			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		京都先端科学大学大学院			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		修業年限以上在学し、所定の単位(32単位)以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者をもってその課程を修了したものとする。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		データアナリスト、データサイエンティスト、マーケティングリサーチャー、ビジネスコンサルタントとしての就職が有利になる。			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
大学院要項(本学HPで公開)参照のこと。 https://www.kuas.ac.jp/wp-content/uploads/2025/04/2025-Graduate-School-of-Economics.pdf			科目ごとに異なるため、シラバス(本学HPで公開)参照のこと。 https://www.kuas.ac.jp/academics/syllabus/		
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		なし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		大学卒業又は大学卒業と同等の学力。 詳細は学生募集要項に記載。			
③その他		—			

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	0	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数		0	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人	②A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業		人	②B: 非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)		人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない		人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員		人	④A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業者		人	④B: 非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した		人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	
	2 1割以上3割未満増加した		人		
	3 1割未満増加した		人		
	4 変わらない		人		
	5 1割未満減少した		人		
	6 1割以上3割未満減少した		人		
	7 3割以上減少した		人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	⑥の回答数合計	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 早期に転職・再就職できる		人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる		人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる		人		
	7 趣味・教養に役立つ		人		
	8 その他の効果		人		
	9 特に効果はない		人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足		人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		シラバスで「成績評価基準」「成績評価方法」として明示している。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
修業年限以上在学し、所定の単位(32単位)以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者をもって、3月(または9月)に、その課程を修了したものとする。					

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		・指導：実務でのデータ利用を意識し、データの取得方法からはじめ、実データを用いたデータ加工や分析を実際に行うことを通して理解度を深める。 ・助言：データ分析力の修得には、自分で問を設定しその問への答えを得るために適切なデータを実際に取得し分析することが必要である。その上で、そのデータが抱える問題や分析面での課題を把握することが重要である。 ・修士論文執筆の指導：「学術論文の基本構成」「参考文献の収集方法」「学術論文の形式」「学術論文の文法」等々の確認と指導、および関心領域における代表的な先行研究の確認、テーマの絞り込みとアプローチの選定をサポートする。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		・試験対策：コア科目（必修科目）担当者を中心に、資格試験の出題範囲をカバーできるよう各講義の内容を調整している。 （取得を目指す資格：データサイエンティスト検定（リテラシーレベル以上）、統計検定（2級以上）） ・修士論文指導：演習担当の指導教員だけでなく、それをサポートする副指導教員を選定し、修士論文の完成に向けたアドバイジングを行っている。 ・講義運営：社会人学生を前提に、平日夜間および土曜日集中で開講。対面授業を基本とするが、一定時間内であればオンライン受講も認めている。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人永守学園 (代表者名：理事長 永守 重信)		
住所及び連絡先	〒615-8577 京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地 TEL 075-406-7000		
施設名称及び施設長名	京都先端科学大学 (施設長：学長 前田 正史)		
住所及び連絡先	〒615-8577 京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地 TEL 075-406-7000		
給付制度担当部署・者	京都先端科学大学大学事務局教務センター教務課 (担当者：田中・西野)		
連絡先	TEL 075-406-9123		
一般教育訓練経費支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 745,000 円		
① 一括払	① 入学料（税込額） (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000 円	
② 分割払	② 受講料（税込額） (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	545,000 円	
		(うち、必須教材費 0 円)	
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 242,000 円		
	① 副読本代(税込額)	50,000 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円	
	③ 施設維持費(税込額)	192,000 円	
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額)		987,000 円

〔特記事項〕

・上記は、初年度1年目にかかる費用を記載している。